

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 主要経済指標予定 (2010年3月8日～3月12日)

発表日: 2010年3月5日 (金)

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 日本経済短期チーム
TEL: 03-5221-4528

(3月8日～3月12日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
3月8日 (月)	8:50 1月国際収支 経常黒字(前年比) (原数値)	— 7,509 億円	— 7,839 億円	— 4,524 億円～11,000 億円	+452.8% 9,008 億円
	8:50 2月マネーストック M2(前年比)	+2.8%	+2.8%	+2.6%～+3.0%	+2.9%
	M3(前年比)	+2.0%	+2.0%	+1.8%～+2.2%	+2.1%
	広義流動性(前年比)	+1.2%	+1.2%	+1.0%～+1.3%	+1.2%
	8:50 2月貸出・資金吸収動向 国内銀行貸出残高(調整後前年比)	—	—	—	▲1.4%
	14:00 2月景気ウォッチャー調査 現状判断 DI	—	—	—	38.8
	先行き判断 DI	—	—	—	41.9
3月9日 (火)	14:00 1月景気動向指数 CI一致指数(前月差)	+2.5pt	+2.3pt	+1.0pt～+2.6pt	+1.4pt
	CI先行指数(前月差)	+2.5pt	+2.4pt	+0.4pt～+2.7pt	+3.3pt
3月10日 (水)	8:50 1月機械受注 船電除く民需 (前月比)	▲2.3%	▲3.5%	▲10.0%～+4.0%	+20.1%
	(前年比)	+0.3%	▲0.7%	▲7.8%～+6.6%	▲1.5%
	8:50 2月企業物価指数 (前月比)	+0.2%	+0.1%	▲0.2%～+0.6%	+0.3%
	(前年比)	▲1.4%	▲1.5%	▲2.1%～▲1.1%	▲2.1%
3月11日 (木)	13:30 1月特定サービス産業動態統計				
	8:50 10-12月期 GDP2次速報				
	実質 GDP 成長率 (前期比)	+1.1%	+1.0%	+0.7%～+1.2%	+1.1%
	(同年率)	+4.5%	+4.0%	+3.0%～+4.9%	+4.6%
	名目 GDP 成長率 (前期比)	+0.2%	+0.1%	▲0.2%～+0.9%	+0.2%
3月12日 (金)	GDP デフレーター (前年比)	▲3.0%	▲3.0%	▲2.8%～▲3.0%	▲3.0%
	8:50 2月製造業部門別投入・産出物価指数				
	交易条件(前月差)	—	—	—	▲0.2%pt
	(前年差)	—	—	—	▲1.7%pt
	13:30 1月鉱工業生産指数・確報				
	鉱工業生産指数(前月比)	—	—	—	+2.5%
	(前年比)	—	—	—	+18.2%
	稼働率指数 (前月比)	—	—	—	+1.4%
	生産能力指数 (前年比)	—	—	—	0.0%

(注) 市場予測は Bloomberg、日経 quick 調査をベースに作成

【重要指標の当社予測とコメント】

1月国際収支・経常収支(原数値) 当社予想: 7509 億円 中央値: 7839 億円

1月の経常黒字額は7,509億円(前年赤字より黒字に転化)を予想する。既に発表された貿易統計では、輸出が中国の春節向け需要による押し上げなどもあり堅調な推移が続いた結果、貿易収支は前年の赤字から黒字に転化した。また、経常黒字の大部分を占める所得収支についても、1月に為替が円安方向に動いたことから、受取増加が見込まれる。以上のことから、経常黒字の持ち直しが予想される。

(エコノミスト: 岩田 陽之助)

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

1月景気動向指数 C I一致指数／C I先行指数（前月差） **当社予想：前月差 +2.5pt／+2.5pt 中央値：同 +2.3pt／+2.4pt**

C I一致指数は前月差+2.5ポイントと、10ヶ月連続の上昇が予想される。輸出の増加等を背景としてC I一致指数は09年3月をボトムとして上昇しているが、2010年に入っても景気が順調に回復していることが確認できるだろう。また、上昇ペースもこれまでよりもむしろ速まっており、景気に減速感が出ている様子は今のところ窺えない。また、C I先行指数も前月差+2.5ポイントと、11ヶ月連続の上昇を予想する。また、内閣府によるC I一致指数の基調判断は、「改善を示している」が維持される可能性が高い。

（主任エコノミスト：新家 義貴）

1月機械受注・船舶電力除く民需（前月比） **当社予想：前月比 ▲2.3% 中央値：同 ▲3.5%**

1月の機械受注（船舶・電力除く民需）は、前月比▲2.3%と2ヵ月ぶりの減少を予想する。もともと、12月の大幅な増加（前月比+20.1%）からの反動減の範囲内であり、足元の機械受注が下げ止まっていることに変わりはない。先行きは、当面は輸出を起点とした製造業部門の回復が続くことから、投資意欲は幾分持ち直す可能性が高いとみている。（副主任エコノミスト：齋藤 俊輔）

2月企業物価指数・国内企業物価（前年比） **当社予想：前年比 ▲1.4% 中央値：同 ▲1.5%**

2月の国内企業物価は前月比+0.2%、前年比▲1.4%を予想する。国際商品市況の強含みを背景に、前月比では2ヶ月連続の上昇が予想される。

石油・石炭製品、非鉄金属、化学製品は、中国向けを中心とする輸出の回復や景気持ち直しに伴うエネルギー価格の上昇を受けて、引き続き前月比プラスの推移が続くと見込まれるが、1月に比べプラス幅は縮小すると思われる。また、建設需要の下げ止まりなどにより、これまで下落が続いていた鉄鋼も、前月比プラスに転じよう。一方、内需低迷の影響によって消費財と関連の深いパルプ・紙・同製品などは前月比マイナスが継続しよう。

先行きについては、輸出の回復や国際商品市況の上昇基調の持続が押し上げに働く一方で、依然として需給ギャップに由来する物価下落圧力は根強く残っているため、国内企業物価は当面、横ばい圏内での推移が続くと予想される。（エコノミスト：小杉 晃子）

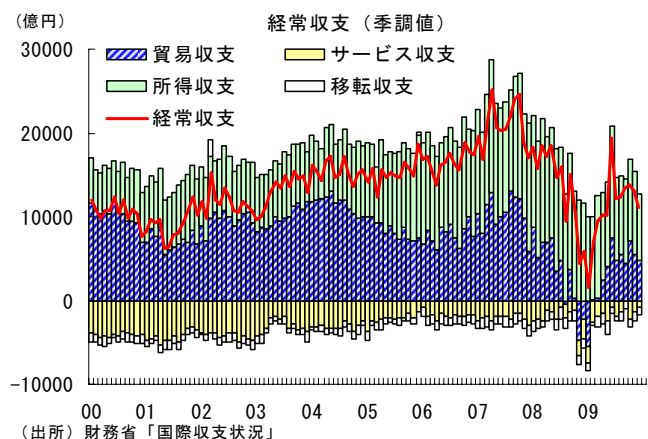
10-12月期GDP 2次速報・実質GDP成長率 **当社予想：前期比年率 +4.5% 中央値：同 +4.0%**

前期比年率+4.5%（前期比+1.1%）を予想する。1次速報段階の前期比年率+4.6%（前期比+1.1%）からは下方修正だが、修正幅は僅かであり、景気認識の変更をもたらすものにはならないだろう。

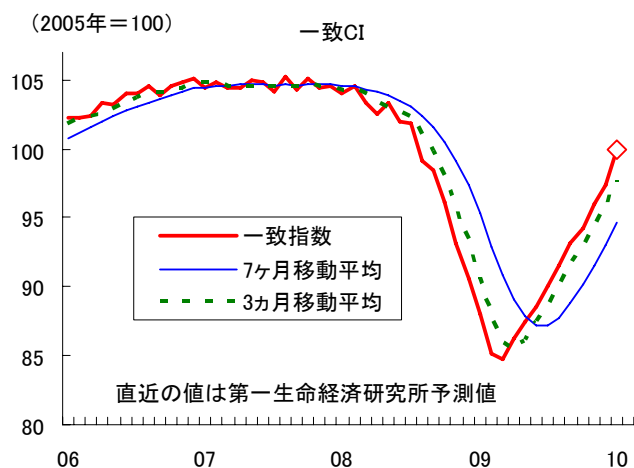
設備投資は前期比+0.7%（1次速報段階：同+1.0%）を予想する。1次速報から小幅下方修正ではあるが、前期比プラスは確保できる見込みであり、設備投資の下げ止まりが改めて確認されると思われる。売上や収益の底打ちが徐々に投資に繋がり始めている。（主任エコノミスト：新家 義貴）

以上

図表 1

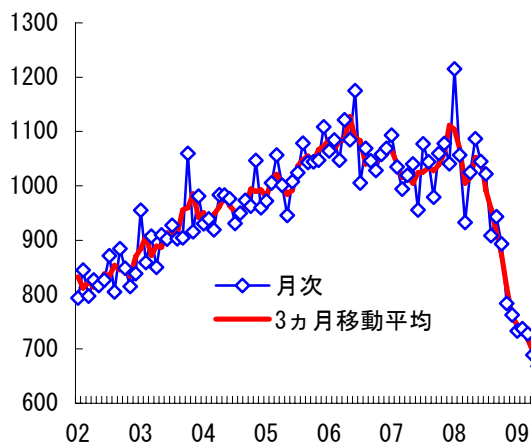


図表 2



図表 3

(10億円) 船舶・電力除く民需（季調値）



図表 4

国内企業物価指数（前年比、%）



(出所) 内閣府「機械受注統計」

図表 5

09年10-12月期GDP2次速報の予測

2次速報予測値		1次速報実績
実質GDP	1.1	1.1
(前期比年率)	4.5	4.6
内需寄与度	0.6	0.6
(うち民需)	0.5	0.5
(うち公需)	0.1	0.1
外需寄与度	0.5	0.5
民間最終消費支出	0.7	0.7
民間住宅	▲ 3.4	▲ 3.4
民間企業設備	0.7	1.0
民間在庫品増加(寄与度)	0.1	0.1
政府最終消費支出	0.8	0.8
公的固定資本形成	▲ 1.3	▲ 1.6
財貨・サービスの輸出	5.0	5.0
財貨・サービスの輸入	1.3	1.3
名目GDP	0.2	0.2
(前期比年率)	0.8	0.9
GDPデフレーター(前年比)	▲ 3.0	▲ 3.0
国内需要デフレーター(前年比)	▲ 2.9	▲ 2.9

※断りの無い場合、前期比(%)

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

3月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
3/1 2月軽自動車販売(14:00) 2月自動車販売(14:15) (米)1月個人所得・消費 (米)2月ISM製造業景気指数 (米)1月建設支出 (欧)2月製造業PMI(確)	2 1月労働力調査(8:30) 1月一般職業紹介状況(8:30) 1月家計調査(8:30) 2月マネタリーベース(8:50) 10年利付国債 (米)ページブック (米)2月自動車販売台数 (欧)1月生産者物価 (豪州)金融政策委員会	3 1月毎月勤労統計(10:30) (米)2月ISM非製造業指数 (欧)1月小売売上高 (豪州)10-12月期GDP	4 10-12月期法人企業統計(8:50) 野田日銀審議委員挨拶 (米)1月製造業受注 (米)1月中古住宅販売保留 (欧)10-12月期GDP(改) (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合 (インドネシア)金融政策委員会 (マレーシア)金融政策委員会	5 1月家計消費状況調査(14:00) (米)2月雇用統計 (米)1月消費者信用残高
8 1月国際収支(8:50) 2月マネーストック(8:50) 2月貸出・資金吸収(8:50) 2月景気ウォッチャー調査(14:00) (独)1月鉱工業生産	9 1月景気動向指数(14:00) 30年利付国債	10 1月機械受注統計(8:50) 2月企業物価(8:50) 1月特定サービス産業動態統計調査(13:30) (米)1月卸売在庫 (米)2月財政収支 (仏)1月鉱工業生産 (タイ)金融政策委員会	11 10-12月期GDP2次速報(8:50) 5年利付国債 (米)1月貿易収支 (ニュージーランド)金融政策委員会 (韓国)金融政策委員会 (フィリピン)金融政策委員会 (ブラジル)10-12月期GDP	12 2月投入・産出物価指数(8:50) 1月鉱工業指数・確(13:30) (米)2月小売売上高 (米)3月ミシガン大消費者センチメント (速) (米)1月企業在庫 (欧)1月鉱工業生産
15 1月商業販売統計・確(13:30) 2月消費動向調査(14:00) (米)3月NY連銀指数 (米)1月対米証券投資 (米)2月鉱工業生産 (米)2月NAHB住宅市場指数	16 金融政策決定会合(～17日) 20年利付国債 (米)2月輸入物価 (米)2月住宅着工件数 (米)2月建設許可件数 (米)FOMC (欧)2月消費者物価 (仏)2月消費者物価	17 1月第3次産業活動指数(8:50) 1月毎月勤労統計・確(10:30) 1月建設総合統計(14:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) ※3月月例経済報告 (米)2月生産者物価	18 3月ロイター短観(8:30) 1-3月期法人企業景気予測調査(8:50) 1月景気動向指数改訂(14:00) 3月金融経済月報(14:00) (米)2月消費者物価 (米)3月フィラ連銀指数 (米)2月景気先行指数 (欧)1月貿易収支 (ブラジル)金融政策委員会	19 1月全産業活動指数(13:30) (トルコ)金融政策委員会 (メキシコ)金融政策委員会
22 ※(欧)2月製造業PMI(速)	23 10-12月期資金循環(8:50) 金融政策決定会合議事要旨(2月17,18日分)(8:50) ※2月チェーンストア販売統計(14:00) ※2月全国百貨店売上高(14:30) 2月コンビニエンスストア統計(16:00) (米)2月中古住宅販売件数 (米)1月FHFA住宅価格指数	24 ※2月貿易統計(8:50) ※平成22年地価公示(16:50) (米)2月耐久財受注 (米)2月新築住宅販売件数 (独)3月Ifo景況感指数	25 2月企業向けサービス価格指数(8:50) 2年利付国債 (ニュージーランド)10-12月期GDP ※(台湾)金融政策委員会 (南アフリカ)金融政策委員会	26 2月消費者物価・全(8:30) 3月消費者物価・都(8:30) (米)10-12月期GDP(確) (米)3月ミシガン大消費者センチメント(確) ※(ベトナム)1-3月期GDP (韓国)10-12月期GDP(確)
29 2月商業販売統計(8:50) (米)2月個人所得・消費 (独)3月消費者物価(速)	30 2月労働力調査(8:30) 2月一般職業紹介状況(8:30) 2月家計調査(8:30) 2月鉱工業指数(8:50) (米)3月CB消費者信頼感指数 (仏)10-12月期GDP(確) (英)10-12月期GDP(確)	31 2月毎月勤労統計(10:30) 2月住宅着工統計(14:00) (米)3月シカゴPMI (米)2月製造業受注 (欧)3月消費者物価(速) (トルコ)10-12月期GDP	4/1 3月日銀短観(8:50) 3月軽自動車販売(14:00) 3月自動車販売(14:15) (米)3月ISM製造業景気指数 (米)2月建設支出 (米)3月自動車販売台数 (欧)3月製造業PMI(確)	2 3月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 3月マネタリーベース(8:50) (米)3月雇用統計

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

4月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
3/29 2月商業販売統計(8:50) (米)2月個人所得・消費 (独)3月消費者物価(速)	30 2月労働力調査(8:30) 2月一般職業紹介状況(8:30) 2月家計調査(8:30) 2月鉱工業指数(8:50) (米)3月CB消費者信頼感指数 (仏)10-12月期GDP(確) (英)10-12月期GDP(確)	31 2月毎月勤労統計(10:30) 2月住宅着工統計(14:00) (米)3月シカゴPMI (米)2月製造業受注 (欧)3月消費者物価(速) (トルコ)10-12月期GDP	4/1 2月日銀短観(8:50) 3月軽自動車販売(14:00) 3月自動車販売(14:15) (米)3月ISM製造業景気指数 (米)2月建設支出 (米)3月自動車販売台数 (欧)3月製造業PMI(確)	2 3月短観業種別計数及び調査 全容(8:50) 3月マネタリーベース(8:50) (米)3月雇用統計
5 (米)3月ISM非製造業指数 (米)2月中古住宅販売保留	6 2月景気動向指数(14:00) 2月家計消費状況調査(14:00) 金融政策決定会合(～7日) 10年利付国債 (豪州)金融政策委員会 (インドネシア)金融政策委員会	7 日銀総裁定例記者会見(15:30) (米)2月消費者信用残高 (欧)10-12月期GDP(確) ※(仏)2月鉱工業生産	8 2月国際収支(8:50) 2月機械受注統計(8:50) 4月金融経済月報(14:00) 3月景気ウォッチャー調査 (欧)2月小売売上高 (独)2月鉱工業生産 (英)BOE金融政策決定会合 (欧)ECB理事会	9 (米)2月卸売在庫 ※(仏)3月消費者物価 (韓国)金融政策委員会
12 3月マネーストック(8:50) 3月貸出・資金吸収(8:50) 金融政策決定会合議事要旨(3 月16,17日分)(8:50) 2月特定サービス産業動態統 計調査(13:30) (米)3月財政収支	13 3月企業物価(8:50) 30年利付国債 (米)2月貿易収支 (米)3月輸入物価 (独)3月消費者物価(確) (トルコ)金融政策委員会	14 2月商業販売統計・確(13:30) (米)3月消費者物価 (米)3月小売売上高 (米)2月企業在庫 (米)ページブック (欧)2月鉱工業生産	15 4月ロイター短観(8:30) 3月投入・産出物価指数(8:50) 2月鉱工業指数・確(13:30) 5年利付国債 (米)4月NY連銀指数 (米)2月対米証券投資 (米)3月鉱工業生産 (米)4月フィア連銀指数 (米)4月NAHB住宅市場指数 (欧)2月貿易収支 (中国)1-3月期GDP	16 2月建設総合統計(14:00) 2月毎月勤労統計・確(10:30) (米)3月住宅着工件数 (米)3月建設許可件数 (米)4月ミシガン大消費者センチ(速) (欧)3月消費者物価 (メキシコ)金融政策委員会
19 3月消費動向調査(14:00) ※4月月例経済報告 (米)3月景気先行指数	20 2月第3次産業活動指数(8:50) 3月コンビニエンスストア統計(16:00) (欧)2月経常収支 (英)3月消費者物価	21 ※4月主要銀行貸出アンケート 調査(8:50) 2月景気動向指数改訂(14:00) ※(欧)4月製造業PMI(速) (タイ)金融政策委員会	22 ※3月貿易統計(8:50) ※企業行動に関するアンケート 調査(14:00) 20年利付国債 (米)3月生産者物価 (米)3月中古住宅販売件数 (米)2月FHFA住宅価格指数 (フィリピン)金融政策委員会	23 2月全産業活動指数(13:30) ※3月チェーンストア販売統計 (14:00) ※3月全国百貨店売上高 (15:00) (米)3月耐久財受注 (米)3月新築住宅販売件数 (独)4月ifo景況感指数 (英)1-3月期GDP(速) (英)3月小売売上高 ※(韓国)1-3月期GDP(速)
26 3月企業向けサービス価格指数 (8:50)	27 2年利付国債 (米)4月CB消費者信頼感指数	28 3月商業販売統計(8:50) (米)FOMC (独)4月消費者物価(速)	29 (ニュージーランド)金融政策委員会 (ブラジル)金融政策委員会	30 3月消費者物価・全(8:30) 4月消費者物価・都(8:30) 3月労働力調査(8:30) 3月一般職業紹介状況(8:30) 3月家計調査(8:30) 3月鉱工業指数(8:50) 3月毎月勤労統計(10:30) 3月住宅着工統計(14:00) 4月日銀展望レポート(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) 金融政策決定会合 (米)1-3月期GDP(速) (米)4月シカゴPMI (米)4月ミシガン大消費者センチ(確) (欧)4月消費者物価(速)

(※)印は期日が未定のもの